



# 熊本県高森町 地域おこし協力隊募集要項

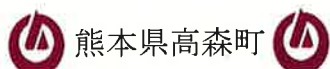


平成31年4月



The most beautiful villages in Japan

高森町



熊本県高森町

【人口・世帯】

人口：6,432人 世帯：2,884世帯

(※2019年3月1日)

【面積】

175.06km<sup>2</sup>

【気温】

最低気温：-6.6℃

最高気温：31.8℃

平均気温：13.0℃

(気象庁統計資料 2014)



月廻り公園



南阿蘇鉄道トロッコ列車



高森殿の杉

【地勢】

熊本県高森町は阿蘇山の麓、熊本県の最東端、

北は大分県竹田市、南は宮崎県高千穂町との三県境に位置します。

【産業】

古くから、畑作や稲作、広大な原野を利用した畜産等を中心とした第一次産業です。

主な特産品は「あか牛」・「ヒゴムラサキ(ナス)」・「高冷地野菜(キャベツ・ダイコンなど)」です。

【観光】

「高森湧水トンネル」・「月廻り公園」・「高森殿の杉」・「南阿蘇鉄道トロッコ列車」・「上色見熊野座神社」など



高森湧水トンネル



上色見熊野座神社



## 1 募集概要

### ①ふるさと納税を活用した高森町の魅力発信プロジェクト(1名)

ふるさと納税とは、地方自治体に寄附(ふるさと納税)をすると、寄附額のうち2,000円を超える部分について、税金(所得税、住民税)が控除される制度です。返礼品を設定している地方自治体へ寄附(ふるさと納税)をすれば、寄付者は返礼品を受け取ることもできます。

ふるさと納税は単なる自治体の財源確保のみならず、地域の宝を全国に発信することもでき、地域の宝を生産する方々の意欲の向上に繋がるなど、自治体や生産者などに影響を与える非常に重要な制度です。高森町には高森町ならではの農作物や地域特産品がたくさんあります。そんな宝を発掘し、ふるさと納税の返礼品として全国へ発信しましょう！

期間を通じての具体的な取組は次のとおりです。

- ・地域事業者訪問による新商品開発
- ・ふるさと納税業務管理システム管理
- ・寄附者からのお問い合わせ対応
- ・その他ふるさと納税に関する業務全般

※高森町ふるさと納税(<http://kumamoto-basasi.com/furusato/sp/takamori/>)

### ②高森町移住定住インストラクターによるまちづくりプロジェクト(1名)

2018年(平成30年)4月の高森町の人口は6,491人です。2010年(平成22年)は6,716人でしたが、この8年で225人減少しています。さらに2025年には5,501人になると推計されており、高森町は日本創生会議が発表した消滅可能性都市の1つにあげられています。この消滅可能性都市とは2040年までに消滅する可能性があると考えられる市町村です。

町では移住・定住施策として現在、空き家バンクの設置やイベント・セミナーでの情報発信などに取り組んでいます。さらに移住者を迎えるために、様々な施策を講じ、魅力を発信していく必要があります。私達のような在住者が知っている高森町の魅力と、移住してきた方にしか気づけない魅力の2つを組み合わせ、移住希望者の方へ発信し、移住定住施策と一緒に取り組みませんか？

期間を通じての具体的な取組は次のとおりです。

- ・空き家バンクの推進
- ・移住希望者及び移住者交流会等の開催
- ・新たな移住者支援制度の確立支援
- ・移住相談会への出展
- ・お試し暮らし住宅の企画・管理・運営
- ・空き家を活用したリノベーションの企画・提案・実施 など



### ③NPO 法人阿蘇フォークスクール運営と工芸を活かしたまちづくりプロジェクト(1名)

熊本県阿蘇郡高森町の上色見地域は高森町の最北端、阿蘇市との市町境、阿蘇五岳の一つである根子岳の麓に位置しているため、雄大な景色を眺めることができる自然溢れる地域です。

この豊かな地域で活動しているのが「NPO法人阿蘇フォークスクール」です。主に工芸講座、文化講座、農業体験、自然体験、イベント開催など多くの活動に取り組まれています。春と秋には「アート&クラフトフェア」を開催し、木工体験や多くの団体及び個人が出展するなど、盛大にイベントを開催しています。

阿蘇フォークスクールの事務局の一員として地域の活性化に携わり、工芸家に囲まれた環境の中で工芸品の開発、情報発信に取り組んでみませんか？

期間を通じての具体的な取組は次のとおりです。

- ・NPO法人阿蘇フォークスクールの事務局運営
- ・工芸品の新商品開発
- ・「アート&クラフトフェア」などイベントの開催
- ・工芸家を対象としたワークショップの開催
- ・イベント開催及び地域魅力の発信

※NPO法人阿蘇フォークスクール(<http://asofolkschool.eco.to/index.html>)

### ④高森町農業モデル地域プロジェクト(1名)

高森町は古くから、畑作や稲作、広大な原野を利用した農林・畜産業が行われてきました。平成25年5月には本町を含む阿蘇地域が世界農業遺産に認定され、今後の阿蘇地域の農業が益々注目されることが期待されます。

今回募集する草部南部地区は、「熊本県中山間モデル地区」に県内5箇所の中の1箇所に選定され、今後の本町農業のみならず、県内中山間地域農業の先進的な農業スタイル確立に向け動き出す重要な地域となっております。そこで、今回、こうした農業と一緒に取り組み「高森町地域おこし協力隊」として、活動していただける人材を募集します。

阿蘇五岳に囲まれた雄大な大地で農業から始まる地域活性化と一緒に取り組みましょう！

期間を通じての活動は次のとおりです

- ・施設園芸や水稲作付等の技術を習得するため、地域住民と一体となって農業従事
- ・地域の祭事等への積極的参加及び企画立案
- ・認定新規就農者及び認定農業者等、地域の農業担い手を目指す



### ⑤健康で豊かな暮らしを送れる「町民総スポーツ」によるまちづくりプロジェクト(1名)

少子高齢化が進んでいる現状の中、「健康で豊かな暮らしを送れる『町民総スポーツ社会』のまちづくり」を目指しています。スポーツを通して町民の心と体の健康を増進し、幸福度を向上させるとともに、町民の交流を促進し、地域を活性化することが重要です。

高森町では、平成24年度に高森町総合型地域スポーツクラブ「高SPO」を設立しています。「高SPO」では、地域住民のみならずと共にスポーツ、文化を通じた仲間作りのお手伝いを行い、スポーツ等を取り入れる事で日々の生活を楽しむための知恵を出し合うこと、また青少年の健全育成を図ることを目的としています。これにより、健康で明るく人に優しい「生き生き・健康・たかもり」の地域づくりを目指し、またそれを継続できる環境の実現を基本理念として日々活動を行っています。

今回、こうしたスポーツによるまちづくりに一緒に取り組み「高森町地域おこし協力隊」として、活動していただける人材を1名募集します。阿蘇高森の雄大な大自然の中、スポーツを通して高森町のスポーツ振興のために汗を流して一緒に働きましょう！！

期間を通じての活動は次のとおりです。

○高森町総合型地域スポーツクラブ「高SPO」の運営等

- ・NPO 法人化に向けた活動
- ・スポーツ、学術、文化、芸術の振興を図る活動
- ・まちづくりの推進を図る活動
- ・子どもの健全育成を図る活動
- ・各種教室の巡回及び指導活動
- ・各イベントの運営
- ・高森町のスポーツ発展に向けた情報発信
- ・その他、クラブの目的達成のために必要な事業

※詳細な活動内容については高SPOホームページをご覧ください <https://www.takaspo.jp/>

### ⑥埋蔵文化財発掘調査プロジェクト(1名)

埋蔵文化財は地域の歴史や文化の成り立ちを理解するための貴重な歴史的財産であり、将来の文化の向上、発展の基礎をなすものです。また、地域の方々にとっての誇りとなり個性豊かな地域の歴史・文化環境を形作る重要な資産でもあります。埋蔵文化財を開発事業との円滑な調整を図りつつ適切に保存・活用することが重要な課題となっています。

高森町においては、平成33年度に草部南部地区の農業基盤整備事業に着工することを計画しています。それに伴い草部南部地区の埋蔵文化財発掘調査を計画しています。

今回、埋蔵文化財発掘調査に精通した「地域おこし協力隊委員」を下記のとおり1名募集します。

期間を通じての活動は次のとおりです。

○埋蔵文化財事務

- 試掘、発掘調査等の現場調査及び報告書の作成等



## ⑦南阿蘇鉄道復興支援プロジェクト(2名)

高森町の玄関口である南阿蘇鉄道は、地域唯一の鉄道公共交通機関として通学や通院での利用はもちろん、田園風景の中を走行する風光明媚な路線であることから、トロッコ列車を活用して観光面に力を入れてきた結果、インバウンド観光客も年々増加し、熊本が誇る観光資源として阿蘇観光には欠かせない鉄道として愛され、地域住民にとって必要不可欠な公共交通、本町の観光振興における重要な役割を担っていました。

しかし、熊本地震の影響により、南阿蘇鉄道は線路やトンネル・橋梁に甚大な被害が発生し、全線復旧は早くとも2022年度の見通しとなっています。現在は、比較的被害の少なかった区間で一部運行をしているものの、利用人数は震災前の約2割に激減しており、併せて観光客数も減少している現状です。

このような状況を踏まえ、本町の観光産業及び地域公共交通の“宝”である『南阿蘇鉄道』の創造的復興を推進し、全線復旧を見据えた人材確保及び育成、安定的な経営を確保する為の支援に取り組む必要があります。

そこで、こうした南阿蘇鉄道復興・活性化支援と一緒に取り組み「高森町地域おこし協力隊」として、活動していただける鉄道が大好きな人材を2名募集します。

期間を通じての活動は次のとおりです。

南阿蘇鉄道の鉄道施設(線路・信号・遮断機・ホーム)の維持管理業務担当(1名)

- ・鉄道施設(線路・信号・遮断機・ホーム)の維持管理業務
- ・その他、鉄道事業に付随する業務全般

南阿蘇鉄道の復興・活性化支援・情報発信・企画・開発担当(1名)

- ・地域と南阿蘇鉄道が連携する支援企画の立案、調整、実施
  - ※南阿蘇鉄道復旧支援対策実行委員会(賑わいづくり各種イベントの企画実施)の運営等
- ・地域及び南阿蘇鉄道の特色を活かした商品・サービス等の企画開発、販売促進、販売、アテンド
- ・地域と南阿蘇鉄道のPR活動など情報の発信:ホームページ、SNSなど(経験者優遇)
  - ※インバウンド客対応:英語、中国語、韓国語など話せる方優遇します。
- ・その他、鉄道事業に付随する業務全般

## ⑧高森町観光振興プロジェクト(1名)

高森町は、阿蘇五岳を望む景観や神話がルーツとなる歴史、大自然の恵みを受けた食材や食文化または、田園風景の中をトロッコ列車で疾走できる南阿蘇鉄道などの観光資源に恵まれており、観光産業は地域経済を支える一大産業となっています。

本町の恵まれた観光資源を活用した施策を実施すると共に、観光業、商業、農林業などの業種の垣根を越えて、住民を含め関係者が一体となった観光振興に取り組む必要があります。

今回、高森町の観光振興と一緒に取り組む「地域おこし協力隊」として、活動していただける人材を1名募集します。都会での閉じきった五感を取り戻し、この地域資源あふれる高森町で働きませんか？

期間を通じての活動は次のとおりです。

- ・高森町観光協会事務
- ・観光イベント等の企画・運営
- ・SNSを用いた観光情報発信
- ・その他観光に関する業務



## 2 募集対象

- ①年齢・性別・学歴は不問
- ②心身ともに健康で前向きに挑戦する意欲のある方
- ③過疎・山村・離島・半島地域以外の3大都市圏をはじめとする都市地域(過疎地域等条件不利地域を除く)に生活の拠点がある方で、熊本県阿蘇郡高森町に住民票を移動できる方
- ④基本的に3年間は継続して活動することができる方
- ⑤地域の活性化に意欲があり、地域が抱える課題の解決に積極的に取り組むことができる方
- ⑥普通運転免許(AT限定可)を所持し、実際に運転ができる方
- ⑦一般的なパソコンの操作ができる方
- ⑧地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない方

## 3 勤務地及び勤務時間

高森町役場または事業実施に必要な町内関係事業所

※募集内容により異なります

9:00～16:00(昼休憩12:00～13:00)、1日あたり6時間、月16日勤務を基本とします。

土・日曜日もしくは祝日に勤務された場合は休日を勤務日に振り替えます。

## 4 雇用形態及び期間

- ①身分は、地方公務員法(昭和25年法律第261号)第3条第3項第3号に規定する特別職非常勤職員として高森町長が委嘱します(副業可)。
- ②委嘱期間は、委嘱日から1年間とします。ただし、最長で委嘱から3年間まで更新することができます。  
※採用決定後、町が指定する年月日にて委嘱し活動を開始していただきます。

## 5 給与・福利厚生等

### (1)活動報酬

月額 190,000円 ※賞与はありません。

### (2)待遇及び福利厚生

- ①住居の毎月の費用は高森町が負担(協力隊期間中は全額補助)します。(空き家、民間賃貸物件など)光熱水費、転居にかかる費用、その他の生活費は、個人負担とします。
- ②社会保険(雇用保険、厚生年金、健康保険)に加入します。
- ③活動に必要な経費は、予算の範囲内で高森町が負担します。

## 6 応募手続

### (1)応募受付期限

- ①応募を受け付け次第、随時選考を行います。
- ②採用者が決定した場合は応募を締め切らせていただきます。
- ③郵送又は持参で受け付けます。なお、提出された書類は返却しません。

### (2)提出書類

- ①応募用紙(高森町ホームページからダウンロード)
- ②企画書(高森町ホームページからダウンロード、パソコン印字可、資料の別添も可)  
「高森町で実現したいこと」を企画書にまとめて提出してください。  
※顔写真(データ写真可)は企画書に貼り付けてください。



## 7 選考方法

### (1) 第1次選考【書類選考】

書類選考の上、応募書類受理から2週間以内に結果を応募者へ発送します。

※応募書類受理から2週間以内までに連休等を挟む場合は遅れる場合があります。

### (2) 第2次選考【プレゼンテーション・面接】

第1次選考合格者を対象に第2次選考(企画書をもとにしたプレゼンテーション)を行います。詳細については、第1次選考結果の通知の際にお知らせします。なお、2次選考の結果は、面接時にご説明致します。

※書類申請費用、交通費等の応募に係る経費は全て個人負担とします。

※プレゼンテーションの際、パソコン、パワーポイント及びプロジェクター等は町で準備します。

## 8 応募先・問い合わせ先

〒869-1602 熊本県阿蘇郡高森町大字高森2168番地

高森町役場 政策推進課(担当:岩下・工藤)

電話 0967-62-1111 担当者電子メール [seisaku@tkbb.jp](mailto:seisaku@tkbb.jp)

HP <http://www.town.takamori.kumamoto.jp/>